

Monthly

vol. 07

# Social Kitchen

21世紀の公民館「ソーシャル・キッチン」がお届けする月刊新聞

## ニューヨークからの手紙



(以下英語からの翻訳)

震災後、ニューヨークの友人より、ソーシャル・キッチンに一通の手紙が届きました。皆さんはどう思われますか？

私はニューヨークに住むアメリカ人です。日本の皆さんに起こった大きな被害については、言葉がありません。皆さんの家族、友人、恋人、仕事仲間が安全な地域に避難されていることを祈ります。また、今も避難所や影響を受けた地域で自宅待機を余儀なくされている方には、その苦しみが一瞬も早く終わるようにお祈りしています。

今回、ソーシャル・キッチンの友人がこの手紙を書いたのは、日本の皆さんが上記のような苦難に直面しながらも、極めて特別で、貴重な状況にいらっしゃるということをお伝えしたかったのです。日本の皆さんは「国を作り直す」という人生に一度も訪れないかもしれないチャンスを目の前にしているということです。チュニジアやエジプトで起こったような大きな変化の波を日本でも起こせるということなのです。

このような特別な機会は、日本に住む人にとってだけではなく、世界中の人にとっても、大切なことなのです。ただし、チュニジアやエジプトと異なることは、そしてそれは大事な要素ですが、日本には安定した社会基盤と、素晴らしい技術や人材がすでにあることです。このような要素は、その変化を静かに、非暴力的に、そして確実に実行するために欠かせないことなのです。

ここで、私の個人的な話をしてみようと思

います。

私は2009年9月11日にニューヨークで起こった同時多発テロ事件に遭遇しました。それはニューヨーク住民にとって、大変痛ましい出来事でした。

ただし、何よりも痛ましかったのは、ワールドトレードセンターへの攻撃後に展開されたアフガニスタン戦争、イラク戦争です。現在も継続されているこれらの戦争では、何万人ものアフガニスタンとイラクの人たちが殺されました。アメリカ国内においても、中東からの移民への嫌がらせや脅迫活動、政府に批判的な立場を取る人に対しての圧迫が増えました。

アメリカは9.11を機に外交政策や経済政策といった国家方針を見直し、世界の国々の友人になるチャンスは無駄にしたのです。もちろん、アメリカ国内にもそして世界中にも、国のあり方を見直そうという大きな動きがありました。テロの根源となる貧困や経済的不平等そのものを変革し、新たな国として生まれ変わろうという大きな動きです。ただ、その力は及ばなかった。その後のアメリカの振る舞いは皆さんもご存知の通りです。

さて、日本に話を戻しましょう。ソーシャル・キッチンのある京都には直接的な被害は及んでいないと聞いています。被災地に思いをはせ、長期的に物質的／精神的支

援と続けていくことの他に、皆さんにできることがあります。

被災地で過ごされている方、被災地から避難している方が、生活を安定させることに最大限集中できるよう、社会を変えるための活動を行うことです。

「日本社会は異なる考え方をもった人や弱い人が、堂々と元気に生きられる社会か」を問い直すことです。この問いは、被災地で、または、避難先の新しい場所で、何も持たずに新たな生活を始められる被災者の方が生きやすい場所になるかどうか、そして福島原発の重大事故によって見えて来たような、いびつな社会のあり方を根本的に、そして創造的に変えられるかどうか直結しています。

この問いに答えるには、エネルギー政策を始めとする、社会の仕組みそのものを相対的に見直し、変更を加えるためのアイデアや知恵、技術を出し合う必要があります。そしてそれを周りの人、地元行政に働きかけましょう。

日本各地で既に「変化」のための小さな運動が生まれていると聞いています。アメリカ市民の力は及びませんでした。日本の方ならきつとこの困難な仕事をやり遂げるだろうという信頼感を持っています。

アメリカの友より

〈展覧会〉

## ■STOMACHACHE."PAPER AND PEN, STORY" EXHIBITIONツアー

STOMACHACHE."PAPER AND PEN, STORY"EXHIBITION ツアーファイナルが、NOT PILLAR BOOKSのサポートのもと、京都のSocial Kitchenで開催。4/24(日)にはSTOMACHACHE.によるライブ・シルクスクリーン・プリントと、4/6にニューアルバム(ジャケットはSTOMACHACHE.デザイン)をリリースする一人宅録音楽家、apartmentによるライブを行います。最終日会場では、ELVIS PRESSよりリリースされた作品集『PAPER AND PEN, STORY』のほか、Tシャツやトートバッグ、バッジなどのオリジナルグッズも販売します。

- 会 期：2011年4月20日(水)～4月24日(日) 13:00～20:00
- 企 画：NOT PILLAR BOOKS (<http://xox.notpillar.com>)  
ELVIS PRESS
- 詳 細：<http://www.elvispress.jp/sk0420.htm>

〈料理教室〉

## ■one dish, one meal a day

【4月23日のメニュー】

- ◎チンジャオロース
- ◎海老のワンタンスープ
- ◎ゆで卵ジンジャーソース
- ◎ミルクティゼリー

- 講 師：分オえり
- 日 時：2011年4月23日(土) 10:00～13:00
- 料 金：3,500円
- 詳 細：<http://onedishaday.jugem.jp/>
- 申 込：dicolaverita@gmail.comまでメールにて申し込みください。



〈レクチャー&amp;ワークショップ〉

## ■台所大学「畑を知る、畑を作る、畑を生きる」

hanareの畑部が借りている岩倉の畑にて実習です。内容は前回(第4回3月20日)の続きですが、今回からの参加の方にも、畝づくりや種まき、道具の使い方など基本的な動きを学んでいただける内容になります。すっかり暖かくなりました。春の土の匂いを感じに来てください。



- 講 師：糸川勉
- 日 時：2011年4月24日(日) 10:00～14:00  
※終了時間は作業の進み具合により変更有  
※昼食の時間を挟みますので昼ごはん、飲み物をご持参ください。
- 場 所：京都市左京区岩倉幡枝町
- 申 込：mikkomichan@yahoo.co.jpまでメールにてお申し込みください。

〈レクチャー〉

## ■OUR dialogue#4 業務用アートの心

今回は、僕たちにとって身近な場所にある「アート」を取り上げます。といっても、パブリック・アートやコミュニティ・アートではありません。もっと生活になじみ深くて、ひょっとしたら毎日使っているかもしれないアート。例えば、アー○引越センターやアー○印刷、アー○サイクルなどなど…。知られざる業務用アートの現場。ナビゲーターの伊達伸明さんが長年のリサーチをもとに、奥深き業務用アートの世界に誘います。

- 講 師：伊達伸明(建築物ウクレレ化保存計画)
- 日 時：2011年4月30日(土) 16:00～18:00
- 料 金：500円
- 定 員：20名
- 申 込：イベント名、お名前・ご連絡先を明記し、  
[our2you@gmail.com](mailto:our2you@gmail.com)に申込みください。
- 企 画：OUR

各イベントの詳細は、ソーシャル・キッチンホームページ ([www.hanareproject.net](http://www.hanareproject.net)) のEventページをご覧ください。

## 1Fカフェからのお知らせ

Social Kitchen初めての春は、桜を見ながらゆっくりお茶をして頂いたり、穏やかな時間が流れていました。いまは夏に向けて、ミントティーの為にミント栽培を計画中。楽しみです。暖かくなり、爽やかな自家製ジンジャーエールやレモネードがおすすめです。もちろんビールも!

【新メニュー】

- ◎自家製パンチェッタのプレート(目玉焼き・サラダのせ) ◎自家製パンチェッタのバゲットサンド
- ◎シナモンバゲットトースト ◎トーストと自家製ジャム(梅/レモン) ◎サングリア



## Social Kitchen 公民館+台所 (ソーシャル・キッチン)

- 1F Café & NOT PILLAR BOOKS (営業時間：水～日曜日 13:00～23:00 ※22:00 ラストオーダー)  
Social Kitchenの心臓部として、朗らかで気持ちのいい場所、人が集い、会話や議論が生まれる場所です。保存食を中心にしたメニューで、近郊農家と信頼できる小売店から材料を仕入れています。世界や日本の面白い印刷物を販売するNOT PILLAR BOOKSの売り場もあります。
- 2F Space (使用可能時間：水～日曜日 11:00～23:00)  
誰でもレンタルできます。ミーティング、ダンス公演、勉強会、展覧会、音楽イベント、集会、レクチャー&ワークショップ、政治討論会、卓球(?)、子育てサークル等。アイデアがある人は、ひとまずご連絡ください。
- 3F Share Office デザイナーやプログラマー達が日々仕事をしています。  
京都市上京区相国寺門前町699 ○営業時間13:00～23:00 ○月・火定休 ○TEL 075-201-1430 ○[info@hanareproject.net](mailto:info@hanareproject.net)  
[www.hanareproject.net](http://www.hanareproject.net)

